

活動報告 号外

西野まさひと



動き
49才

日野市議会議員

ハッキリ言います! 市政にひとこと!

【ホームページもみてね!】 <http://www.nishino1.com/>

西野まさひと友の会では、平成21年日野市議会第3回定例会にて可決された議員定数削減とふれあいホール建設再開の内容を速報いたします。

日野市議会ふたたび定数削減! 26から24議席に!

痛みを伴う改革を

まず議会から実現!

日野市議会はかつて定数30名でしたが平成11年、4名削減し26名となりました。当時、馬場市政下で果敢な行財政改革を断行する中、市議会でも率先して経費を削減し改革すべきと、自民クラブ・公明党・市民クラブの賛同を得て成立しました。

そして、この9月議会でもふたたび市議会の定数を2名削減する議案が上程されました。近年の不況のなか民間企業は厳しい企業努力を重ねて乗り越えてきました。市財政が緊急事態を迎えている今、市議会も自ら厳しい課題を課して臨むべきだと考えます。

今議会では、自民クラブ・公明党・市民クラブの賛成により可決成立しました。これにより来年2月に行われる市議選は定員24名で行われることとなります。地方分権が加速推進されるなか、これから益々議員一人ひとりの活動が重要になります。

日野市議会議員定数の歴史	
H10.12	議員定数削減 検討特別委員会を設置
H11.12	現行30名から26名を提案、 可決成立 (自民ク5名・公明4名・市民ク4名減提案) (共産党ほか無所属は反対)
H21. 9	26名から24名へ定数削減 (自民ク・公明・市民ク賛成、 共産・無会派反対)



9/28日に
可決成立!

待望の「ふれあいホール」建設再開を英断! 市長を評価!

平成21年9月10日(木)発行 読売新聞 多摩版掲載記事

厳しい時代だからこそ

市民の希望の拠点に

昨年の12月議会で市財政の緊急事態により市民待望の総合体育施設「ふれあいホール」の建設の休止をいたしました。しかし、この「ふれあいホール」は森田市政時代から市民要望の高い総合体育施設であり、なおかつ公民館・集会所や学童施設を併設する地域の交流施設です。

休止以来、多くの市民から再開要望の声があり、また、平成23年度までに施設を建設しなければ国や都からの助成が受けられなくなることから、施設実現にはこの機を逃すと困難と判断し、今回の市議会定例会で補正予算を組み建設再開することを決断しました。

景気の後退により市民生活はいまだ厳しい状況ですが、このような時代だからこそスポーツ・芸術・文化活動にいそしむ環境が大切だと思います。馬場市長の英断を高く評価します。



多摩 13 S 2009年(平成21年)9月10日(木曜日) 言宣

日野市 「ふれあいホール」建設へ

11年度までに 要望書など受け休止解除

日野市の馬場弘融市長は、①国の交付金や都の補助金などを活用し、起債や一般財源の抑制を最大限に図れるのは、この時期しかない②特定財源を活用するため、税収動向に影響されないことが見極められた③老人クラブ連合会や地元自治会などから、「応援団」を発定させ、建設後の利用促進などに協力するのを、市長の英断を望むという要望書をもった「一点」を挙げた。

馬場市長は「経済不況で生活が苦しいと言われる今だからこそ、夢・文化・芸術を盛り込む必要がある」と話した。

ふれあいホール完成予想図(日野市HPより)